

防災意識及び大規模災害発生時の行動について

■アンケートの趣旨

名古屋市は、今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や、近年の気候変動の影響により大型化する台風や集中豪雨などの大災害に備え、市全体の防災対策を総合的かつ計画的に推進していくとともに、地域防災力の強化を図っております。

このアンケートでは、市民の皆さまが日頃の防災意識や大規模災害発生時の行動などに対してどのような認識を持っているかをおたずねし、実態を把握することにより、今後の施策推進の参考とさせていただくものです。

■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択制限なし	Q2：必須 ・選択数1つ	Q3：Q2の選択による ・選択制限なし	Q4：Q2の選択による ・選択制限なし
Q5：必須 ・選択制限なし	Q6：必須 ・選択数1つ	Q7：Q6の選択による ・選択制限なし	Q8：必須 ・選択数1つ
Q9：Q8の選択による ・選択制限なし	Q10：Q8の選択による ・選択制限なし	Q11：必須 ・選択数1つ	Q12：必須 ・選択制限なし
Q13：必須 ・選択制限なし	Q14：必須 ・選択数3つ	Q15：任意 ・自由記載	

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

■アンケート実施期間

令和4年10月21日（金） から 令和4年10月31日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500人 回答数： 469人 有効回収率： 93.8%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること
防災危機管理局危機対策室

電話：052-972-3526 F A X：052-962-4030
E-Mail：a3526@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3139 F A X：052-972-3164
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

回答集計

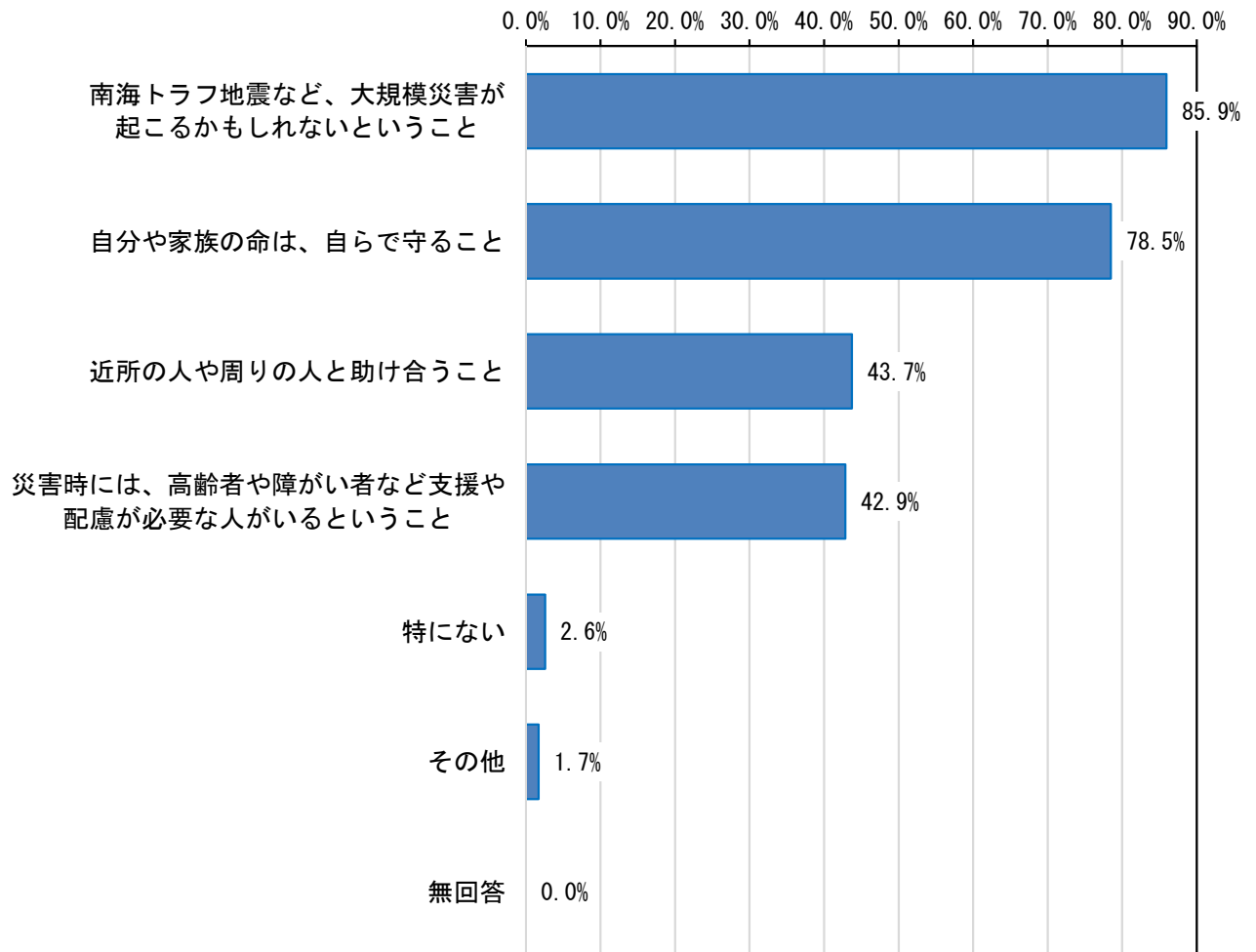
※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

＜防災への意識について＞

大規模災害時には、公助（行政による救助・支援）だけでは、対応に限界があるため、住民一人ひとりが防災・減災の意識を持ち、主体的な行動を取ることが必要です。

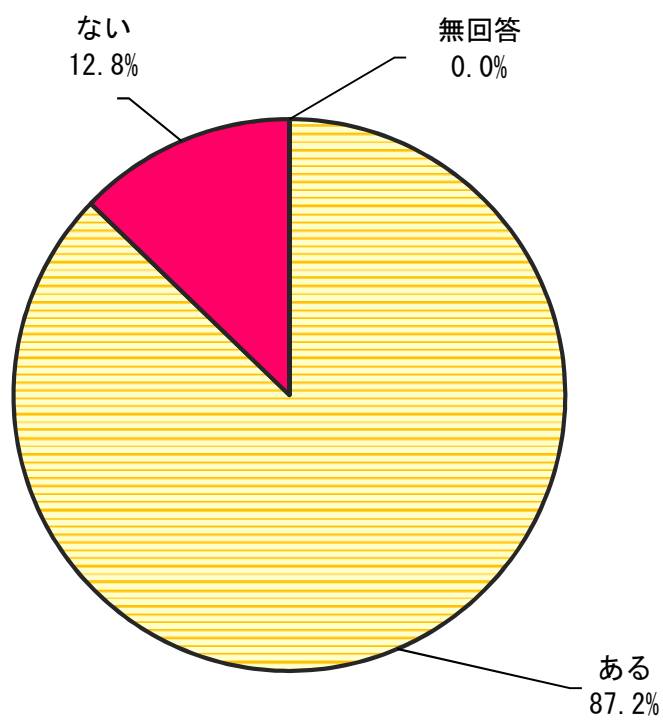
Q1【※必須】あなたが、災害に対する心構えとして意識していることは何ですか。
(選択はいくつでも)

N = 469



Q 2 【※必須】あなたは、災害に対して備えていることはありますか。(選択は1つ)

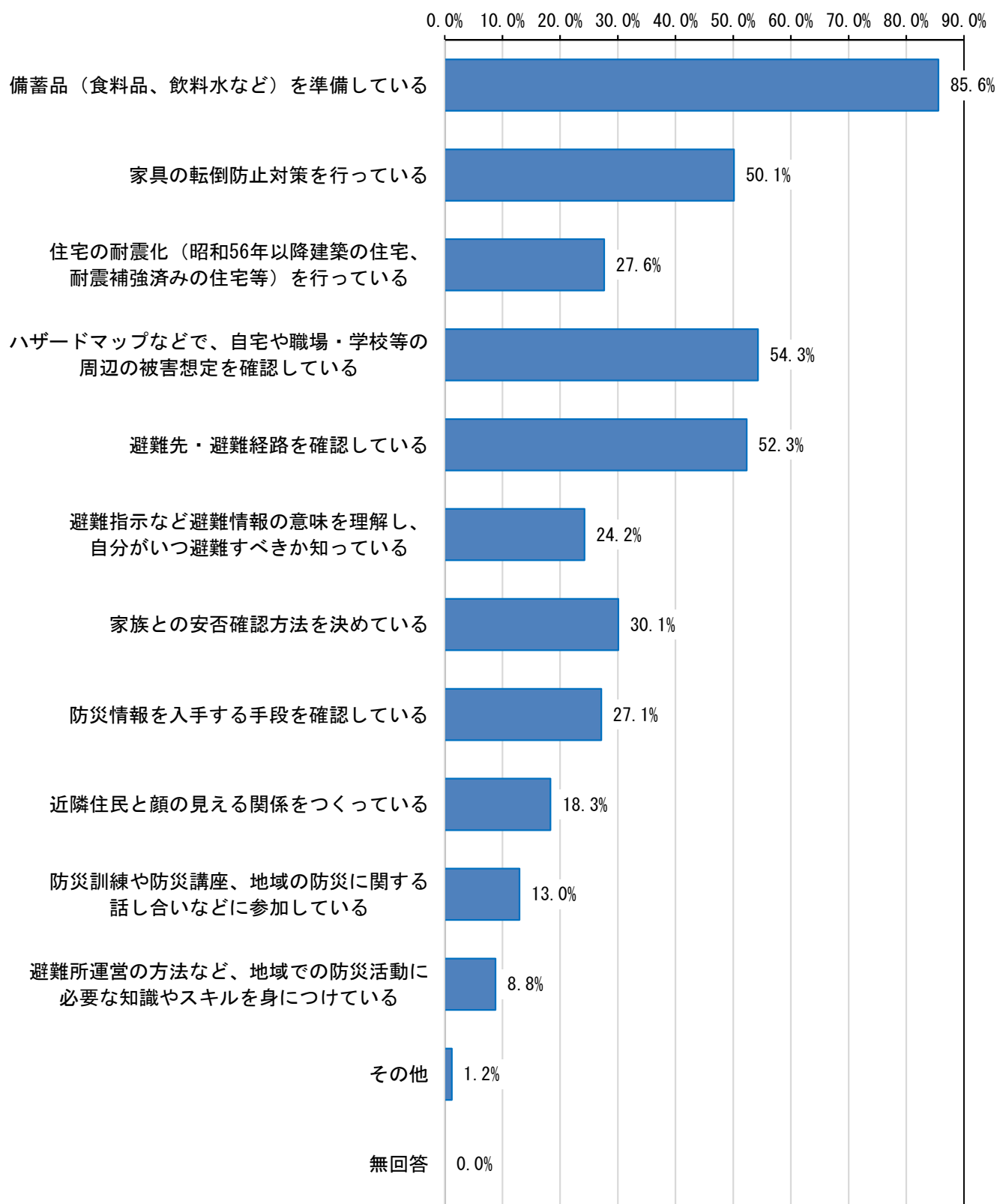
N=469



【Q3は、Q2で災害に対して備えていることはあると答えた方（「ある」と回答した方）におたずねします。】

Q3 あなたが、災害に対して備えていることは何ですか。（選択はいくつでも）

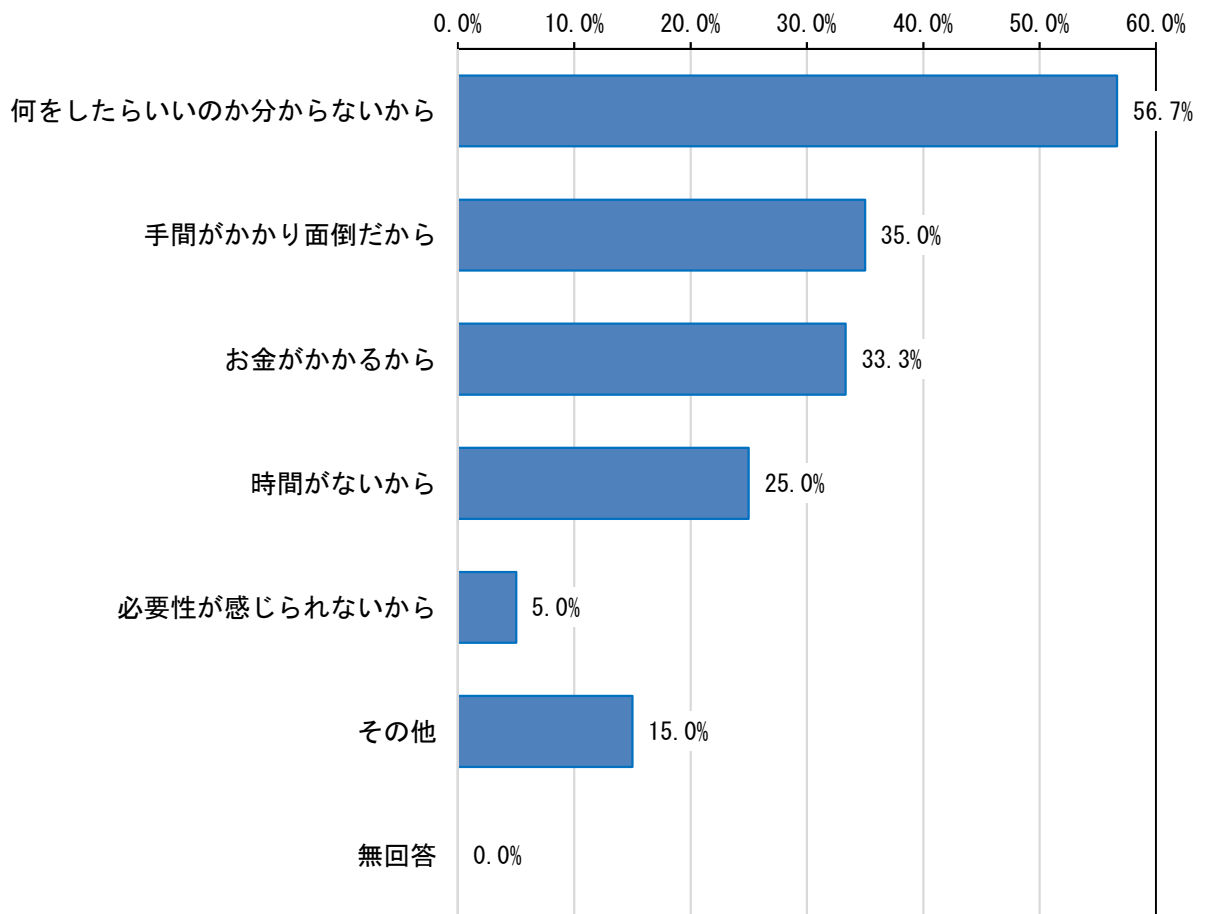
N = 409



【Q4は、Q2で災害に対して備えていることはないと答えた方（「ない」と回答した方）におたずねします。】

Q4 あなたが、災害に対して備えていない理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N = 60



【すべての方におたずねします。】

＜大規模災害発生時の情報収集について＞

名古屋市では、大規模災害が発生した場合または発生するおそれのある場合に、発信する情報の内容やタイミングに応じ、様々な手段で情報を発信します。

例えば、災害発生のおそれがある場合に発令される避難情報（避難指示、高齢者等避難）については、多くの方に迅速にお知らせするため、緊急速報メールや防災スピーカーなどでお知らせします。

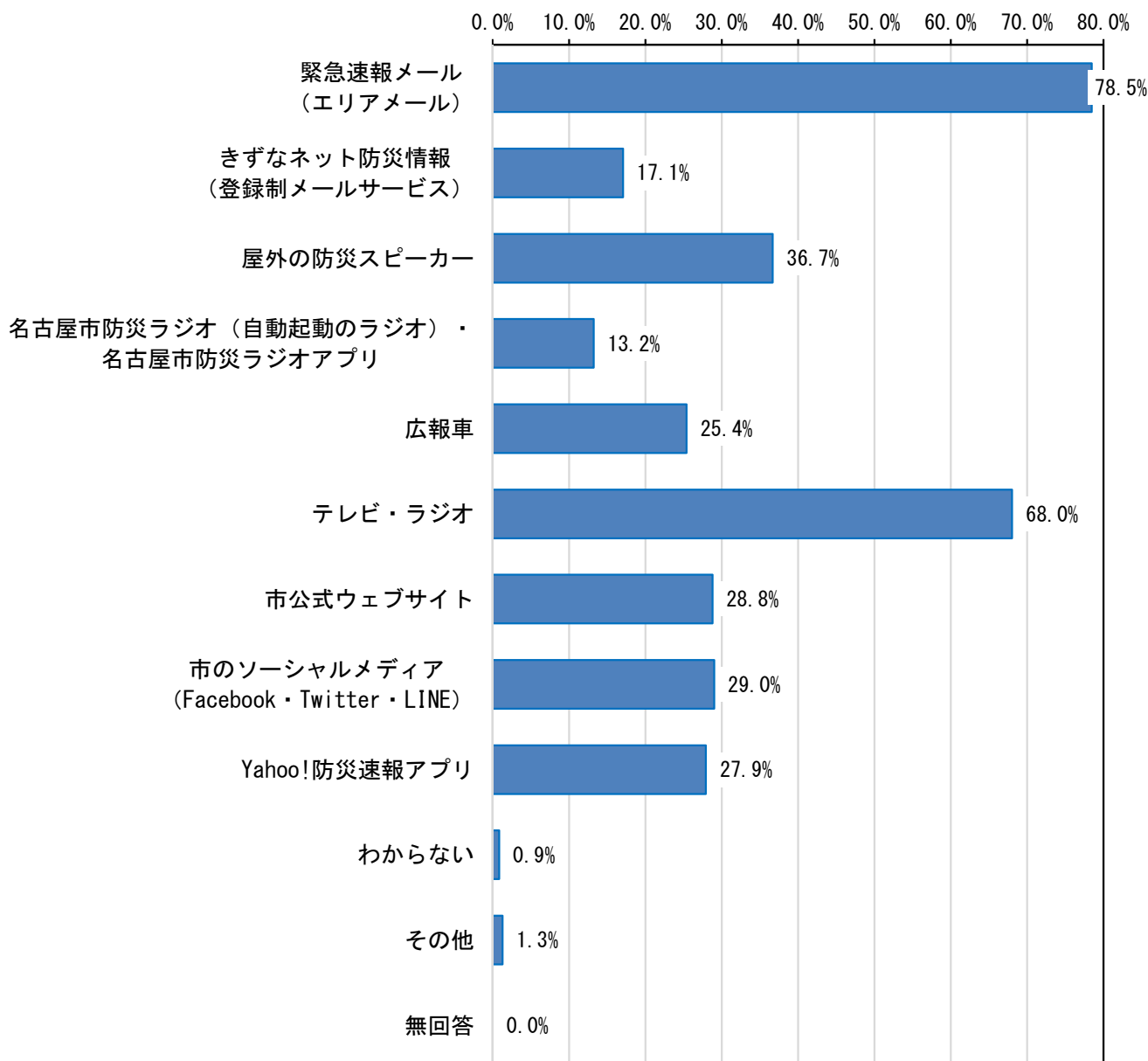
【参考資料】 関連リンク：名古屋市からの防災情報の入手について

(名古屋市公式ウェブサイト)

<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000123147.html>

Q5 【※必須】あなたは、市からの避難情報を受け取る場合に、どのような手段を利用しますか。(選択はいくつでも)

N=469



<帰宅困難者対策について>

2011年に発生した東日本大震災では、首都圏を中心に、公共交通機関が運転見合わせとなったことで多数の帰宅困難者が発生し、大きな混乱となりました。そうした教訓を踏まえ、名古屋市では、帰宅困難者が発生した場合に備え、様々な対策を行っています。

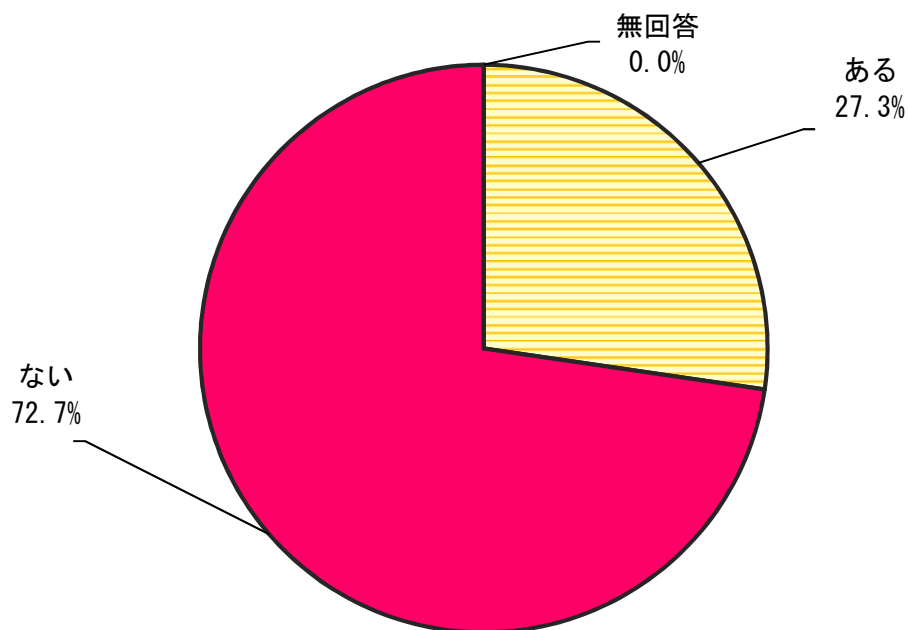
また、ご自身が帰宅困難者になった場合に備えて、通勤・通学先での備蓄品の準備、徒歩帰宅する場合の帰宅経路の確認などを行うことも必要です。

【参考資料】 関連リンク：名古屋市帰宅困難者支援サイト（名古屋市公式ウェブサイト）

<http://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000008161.html>

Q6【※必須】あなたは、帰宅困難者になった場合に備え、準備していることがありますか。
(選択は1つ)

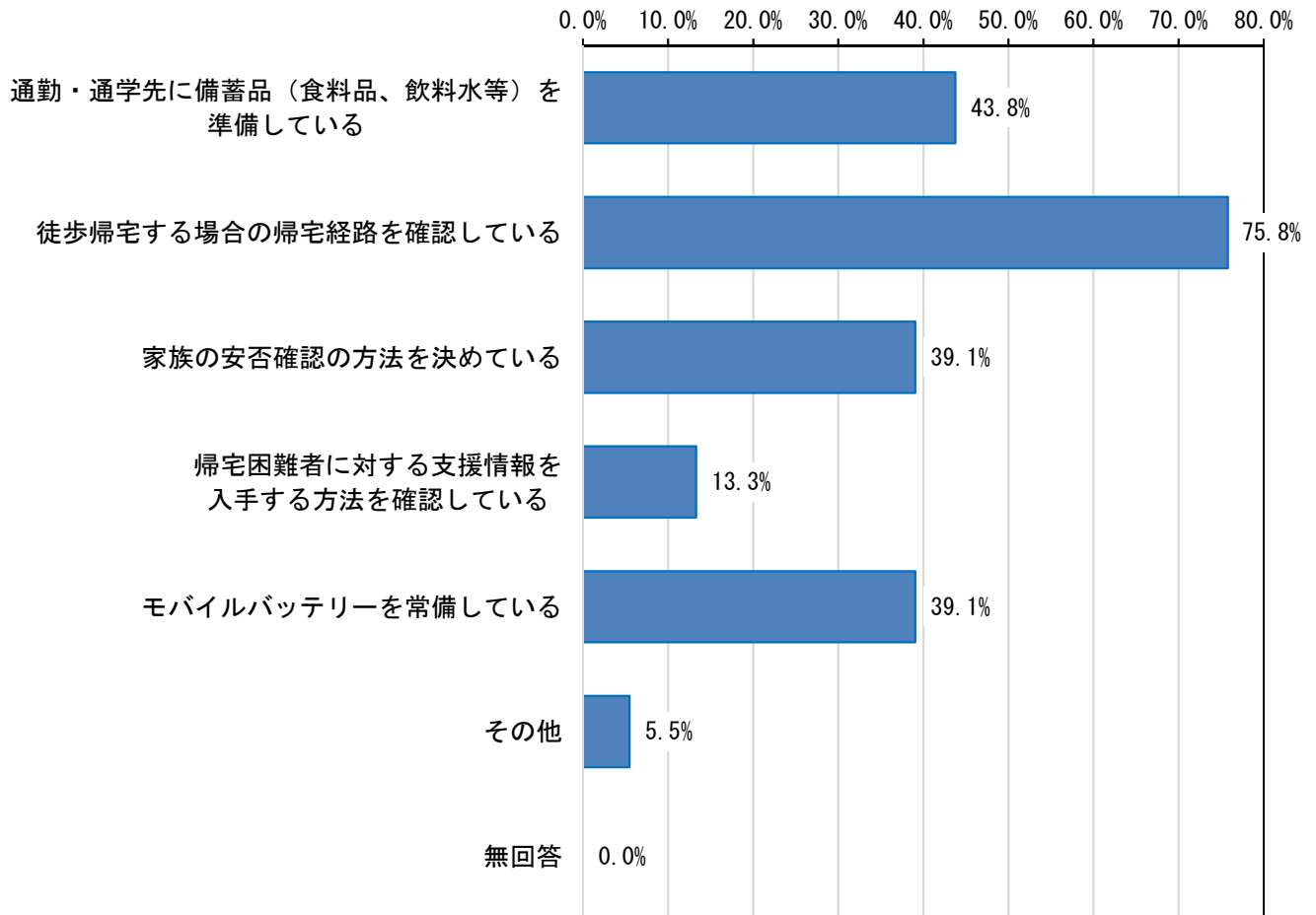
N=469



【Q7は、Q6で帰宅困難者になった場合に備えていることがあると答えた方（「ある」と回答した方）におたずねします。】

Q7 あなたが、帰宅困難者になった場合に備え、準備していることは何ですか。
(選択はいくつでも)

N=128



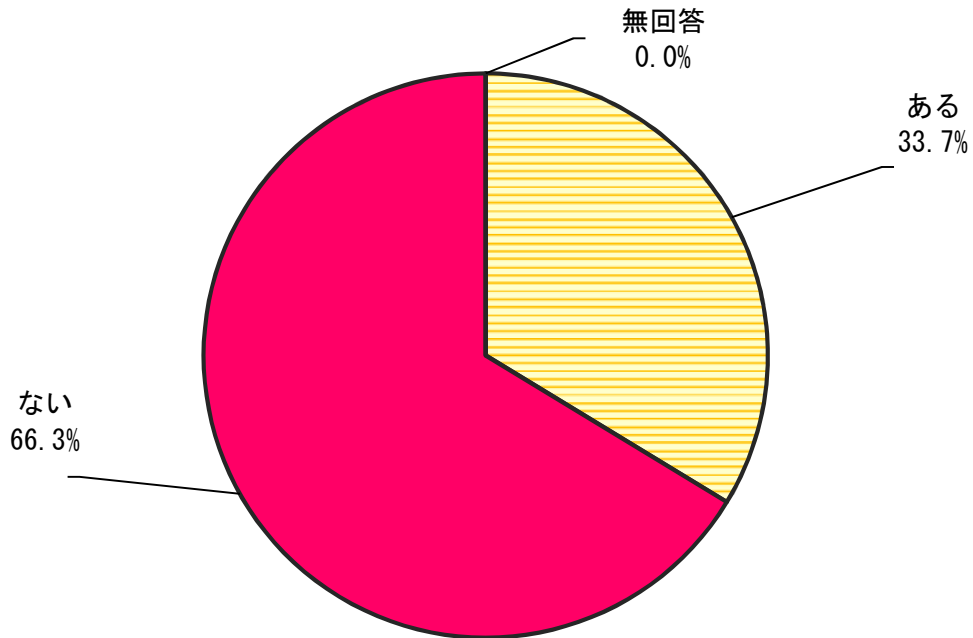
【すべての方におたずねします。】

＜地域の防災訓練について＞

大規模災害が起きた際に、自分や家族の命を守り、近隣で助け合うことができるように、地域（学区や町内会など）で行われている防災訓練に参加することが重要です。

Q8【※必須】あなたは、お住まいの地域で行われている防災訓練に参加したことがありますか。（選択は1つ）

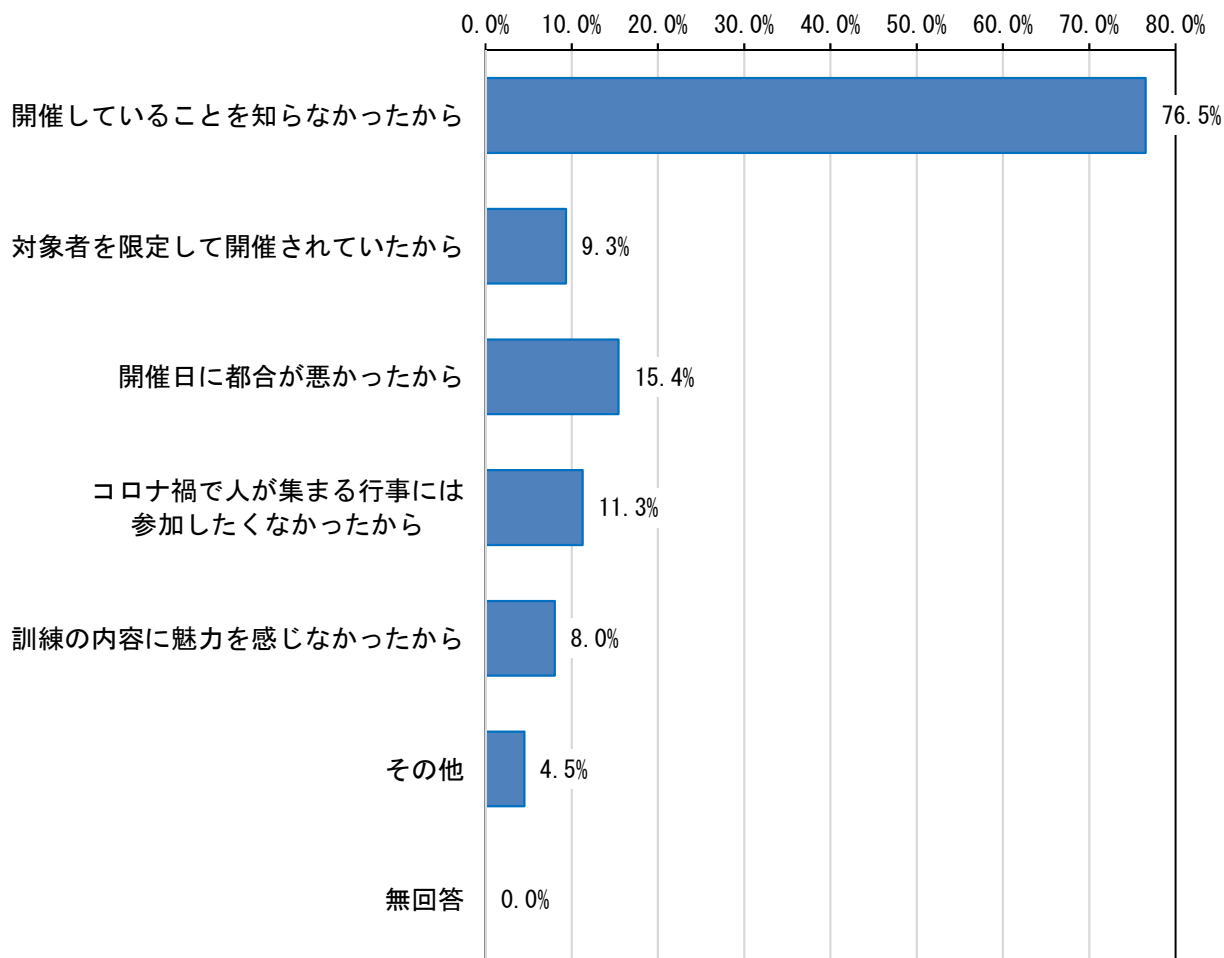
N=469



【Q9、10は、Q8でお住まいの地域で行われている防災訓練に参加したことがない方（「ない」と回答した方）におたずねします。】

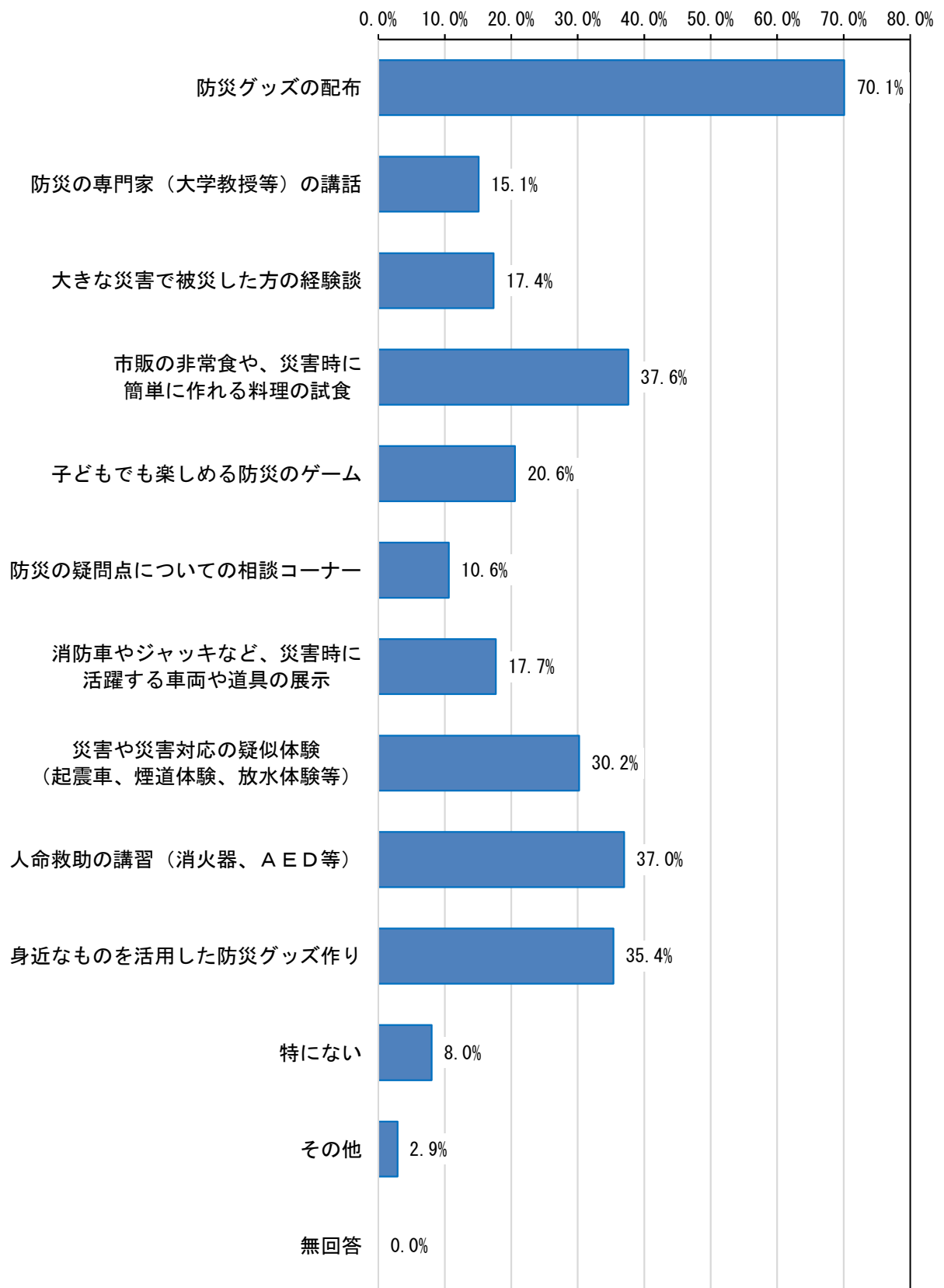
Q9 あなたが、お住まいの地域で行われている防災訓練に参加したことがない理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N=311



Q10 あなたは、防災訓練でどのような内容があれば、参加してみたいと思いますか。
(選択はいくつでも)

N=311



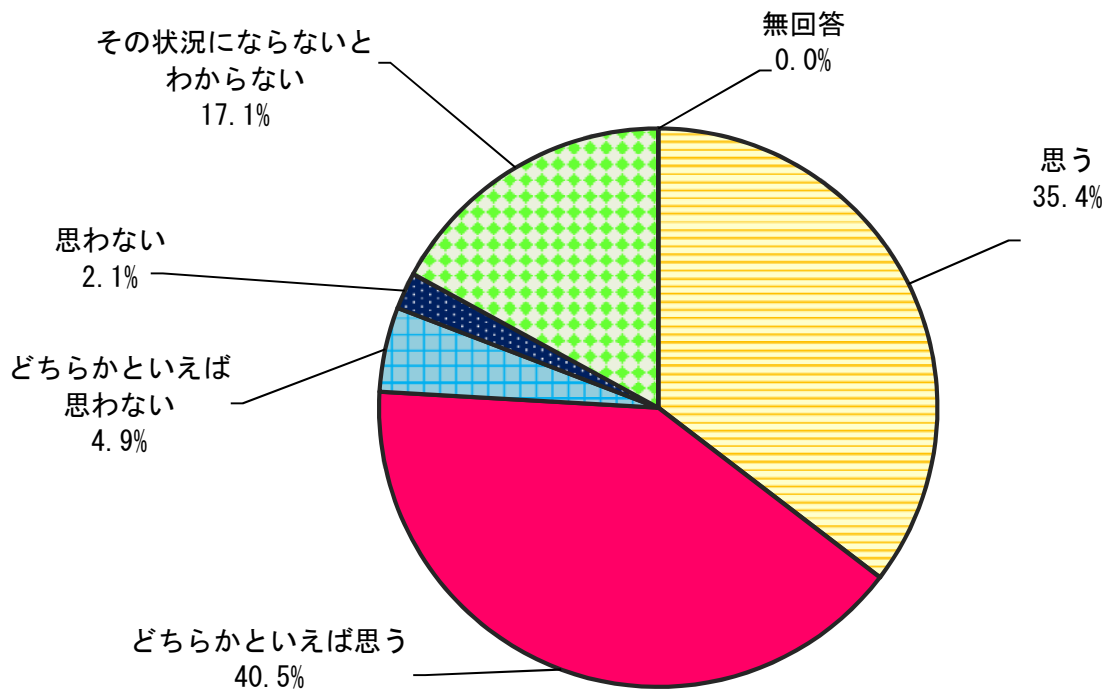
【すべての方におたずねします。】

＜大規模災害発生時における避難支援について＞

大規模災害発生時には、高齢者や障害のある方など、自らで避難することが難しい方もいます。名古屋市では自ら避難することが難しい方の手助けを、どのように地域のみなさまに担っていただけるかが課題だと考えています。

Q11【※必須】あなたが在宅中に大規模災害が発生した場合、お住まいの近くに住む避難の手助けが必要な方を手助けしようと思いませんか。（選択は1つ）

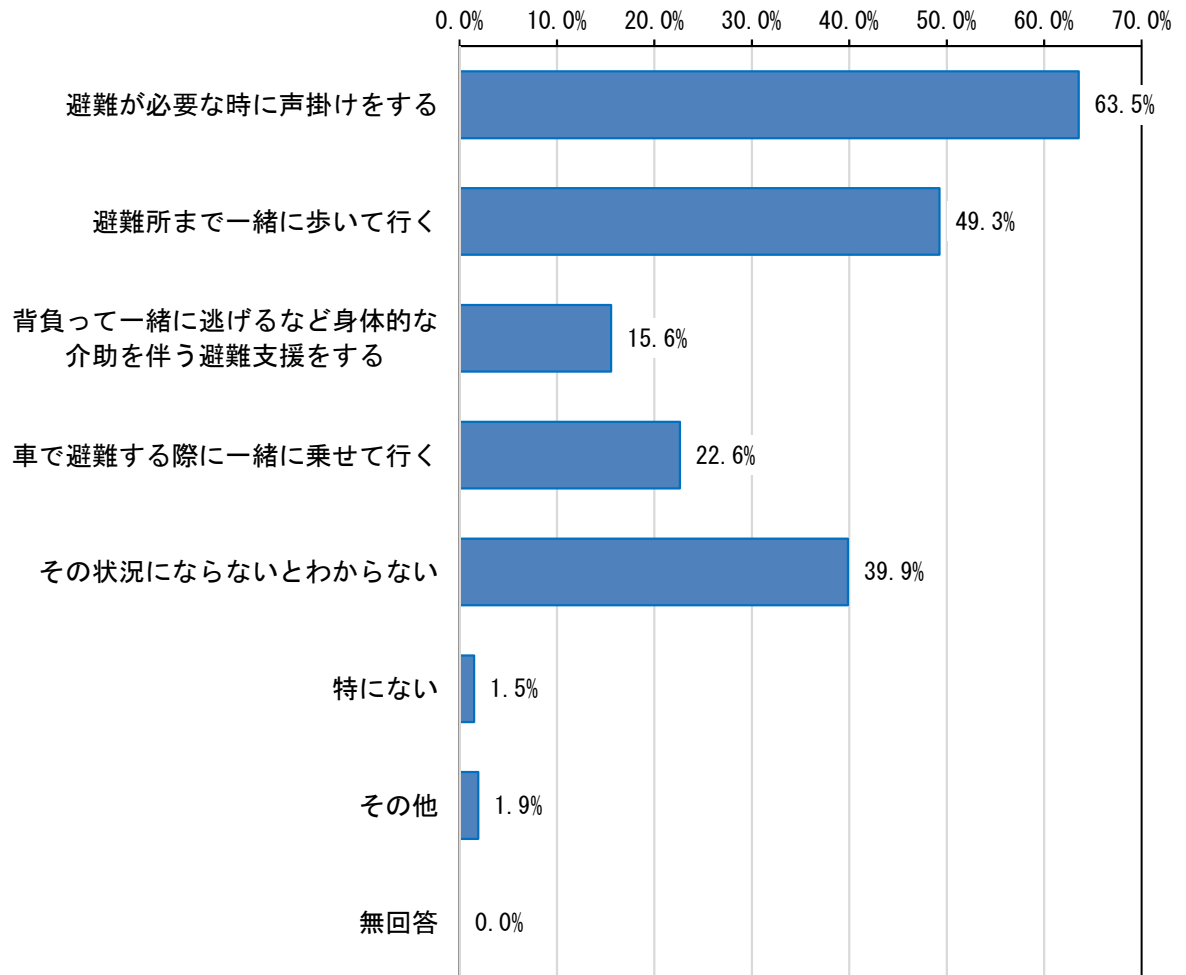
N=469



避難の手助けは、一緒に避難していただくだけでなく、避難が必要な時に声掛けをするなど様々なことがあります。

Q12【※必須】あなたは、避難の手助けが必要な方にどのような支援ができますか。
(選択はいくつでも)

N=469

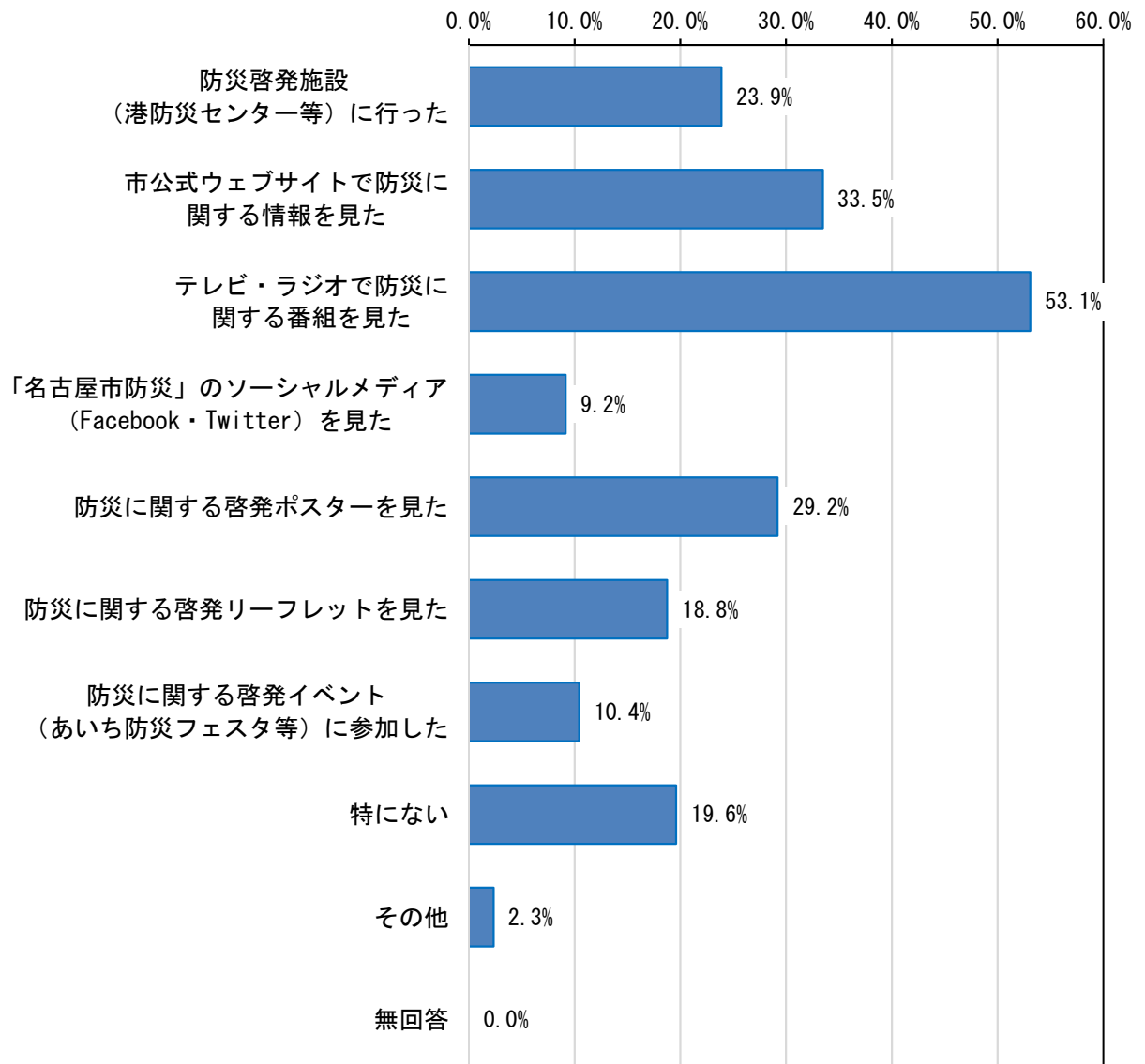


<防災啓発について>

名古屋市では、市民の防災意識の高揚、防災知識の普及を目指し、防災に関する啓発として様々な取り組みを行っています。

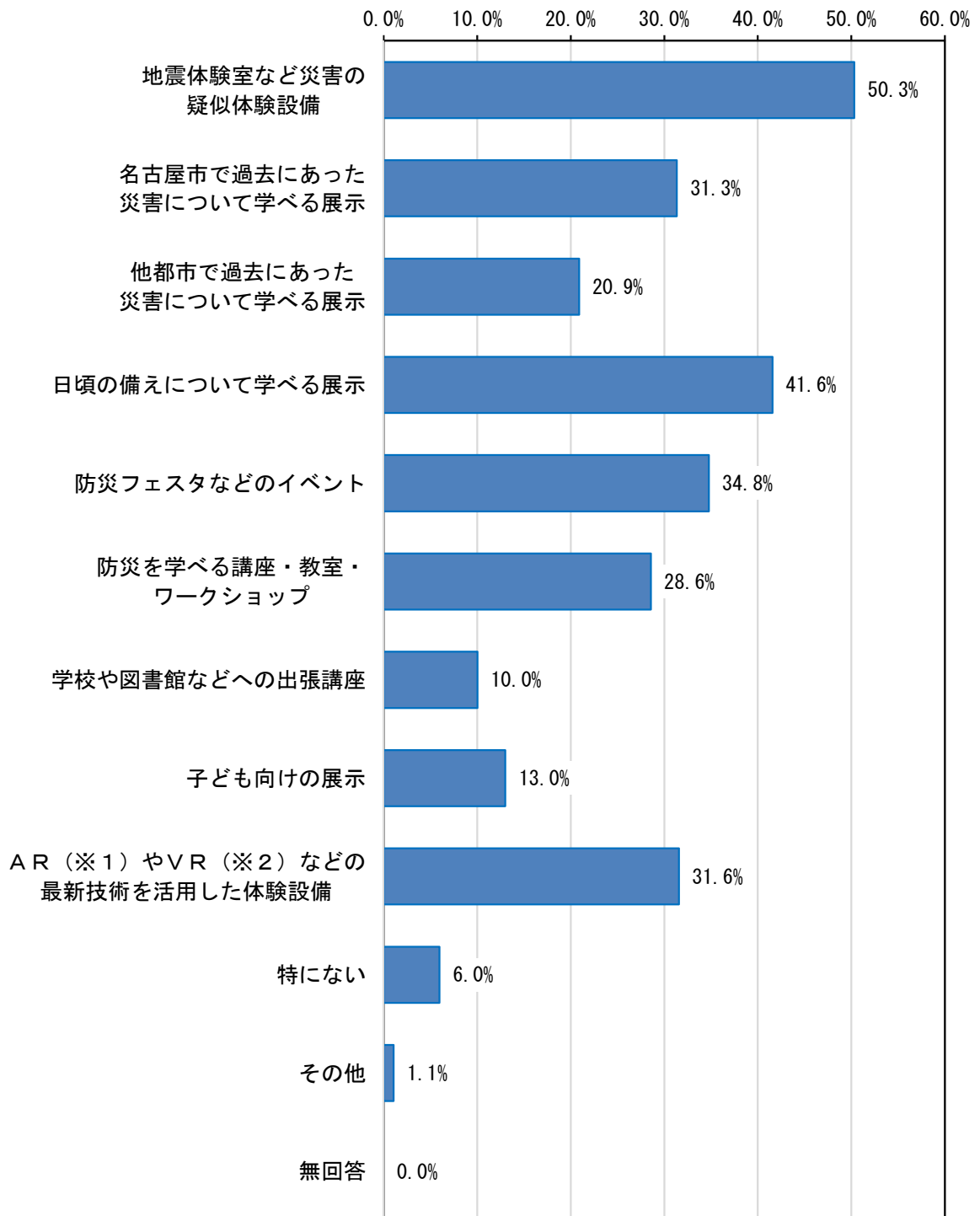
Q13【※必須】あなたは、防災に関する啓発について、過去に見たこと、経験したことがあるものは何ですか。（選択はいくつでも）

N=469



Q14【※必須】あなたが、防災について学習する場合に、興味があるものは何ですか。
(選択は3つまで)

N=469



(※1) AR (Augmented Reality) : 一般に「拡張現実」と訳される。スマートフォンやタブレット端末などの機器を使用し、現実世界にCGを重ねて映し出す技術。

(※2) VR (Virtual Reality) : 一般に「仮想現実」と訳される。閉鎖された視界にCGを投影し、自分が仮想世界にいるかのような体験ができる技術。

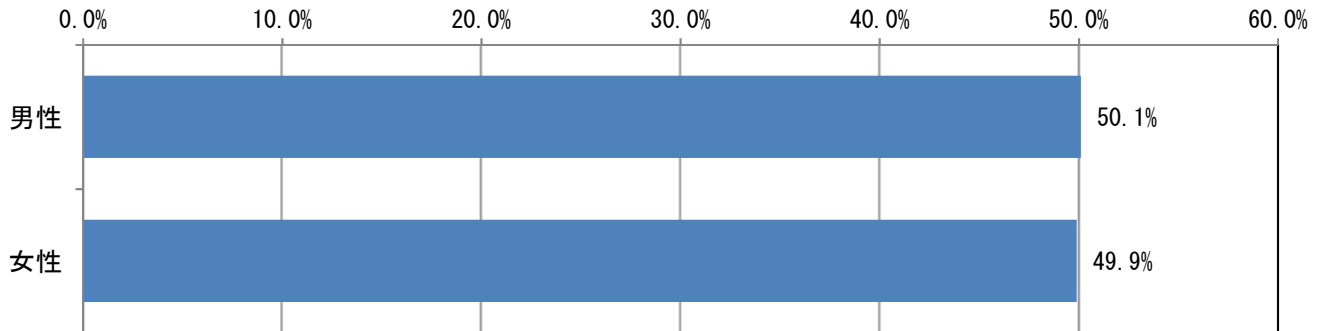
- ・ 防災の取り組みをしなければと思いながら、何と無く過ぎていってしまっています。これを機に自分なりに色々取り組んで行かなければと心新たに致しました。
- ・ 是非、防災に関し意識を高める機会を増やしてほしい。子供が小学生なので、学校からもらう防災の資料がとても役に立っている。大人だけの世帯への働きかけを増やすと良いと思います。
- ・ 近年名古屋市で大きな災害がないことから防災意識に希薄な住民が多いような気がします。今一度防災に対する呼びかけが必要だと思います。
- ・ コロナ禍で地域の防災訓練も二年ぶりに今年ありました。コロナ禍だからといって、こういった防災に関する取り組みが滞るのは残念です。もっと機会を増やし若い世代の人が積極的に参加してもらえると高齢者の手助けができる地域作りになるとおもうので、名古屋市がもっと各区に支援をしてほしいと思います。
- ・ やはり、この地域で起こった伊勢湾台風の関心が高いように思います。被災直後から復興の様子、特に一番身近な区役所、住民の経験、奮闘などを集大成した資料、展示があれば今にも活きるのかと思います。

ほか

■属性集計

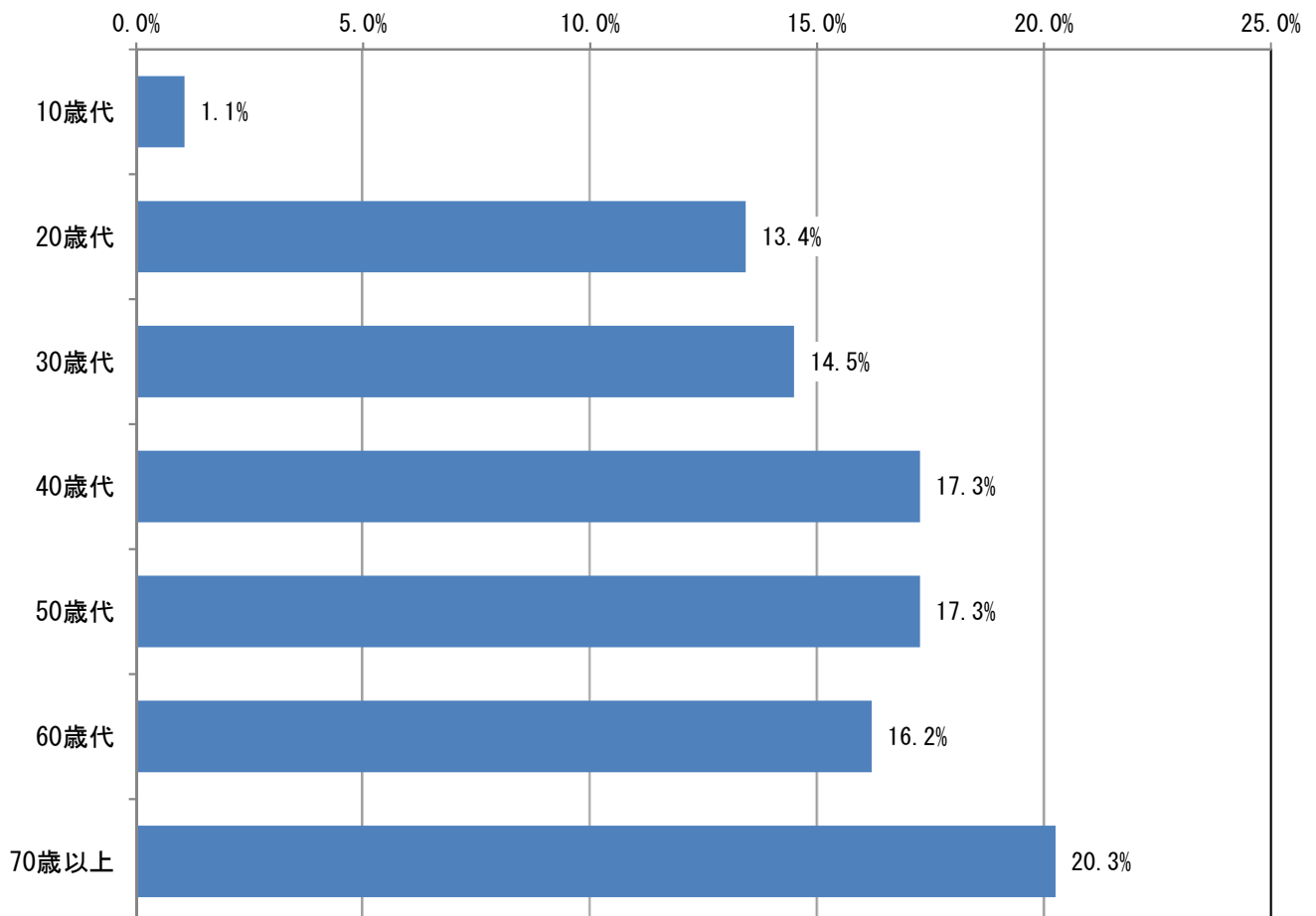
性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	50.1%	49.9%
回答者数	469	235	234



年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	1.1%	13.4%	14.5%	17.3%	17.3%	16.2%	20.3%
回答者数	469	5	63	68	81	81	76	95



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.2%	6.0%	7.7%	4.7%	7.0%	3.4%
回答者数	469	29	28	36	22	33	16
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		6.0%	5.8%	4.5%	7.5%	5.3%	4.5%
		28	27	21	35	25	21
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		4.7%	11.3%	9.0%	6.6%		
		22	53	42	31		

